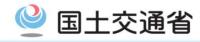
令和2年8月19日 国際コンテナ戦略港湾政策推進WG (第1回) 資料4

今後のWGの進め方等

令和2年8月19日 国土交通省港湾局



- ○今後とも、「集貨」、「創貨」、「競争力強化」の三本柱からなる国際コンテ ナ戦略港湾政策の各施策に着実に取り組む必要がある。
 - ・港湾法改正に伴う集貨のための国、港湾運営会社、港湾管理者の連携強化
 - ・横浜港南本牧ふ頭等における外航船・内航船及び外航船間の岸壁の共同利用化 等
- ○今般の新型コロナウイルス感染症対策を契機に、感染拡大防止につながるリモート化、非接触化に取り組むことで、セキュリティを確保しつつ、効率的な物流システムを構築し、港湾におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を強力に推進する必要がある。
 - ・港湾関連データ連携基盤
 - ・遠隔操作RTGをはじめとする「ヒトを支援するAIターミナル」
- ○災害発生時でも基幹的物流を維持し、社会経済への影響を最小限に抑制するため、新しいターミナルの配置・規模のあり方を検討する必要がある。



■第1回 2020年8月19日(水)

- 〇 「フォローアップ(注)」で掲げられた政策目標への取組状況
- 〇 港湾・海運を取り巻く近年の状況と変化
- 〇 新型コロナウイルス感染症による港湾物流への影響
- 〇 今後のWGの進め方等

(注)2019年に作成された「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会」の最終とりまとめフォローアップを指す。

■第2回 2020年 秋頃

- 〇 第1回WG結果等を踏まえた分析
- 〇 今後の新たな課題

■第3回 2021年 春頃

○ 国際コンテナ戦略港湾政策に係る令和3年度予算・税制の概要(報告)